



0 より大きい数を 正の数 という。

正の符号 +^{プラス} をつけて表すことがある。

0 より小さい数を 負の数 という。

負の符号 -^{マイナス} をつけて表す。

※ 0 は正の数でも負の数でもない。

・ 次の数を正の符号、負の符号を使って表しなさい。

① 0 より 3 大きい数

+ 3

② 0 より 2 小さい数

- 2

③ 0 より $\frac{1}{2}$ 小さい数

④ 0 より 2.5 小さい数

⑤ 0 より $\frac{3}{4}$ 大きい数





0 より大きい数を 正の数 という。

正の符号 +^{プラス} をつけて表すことがある。

0 より小さい数を 負の数 という。

負の符号 -^{マイナス} をつけて表す。

※ 0 は正の数でも負の数でもない。

・ 次の数を正の符号、負の符号を使って表しなさい。

① 0 より 3 大きい数

+ 3

② 0 より 2 小さい数

- 2

③ 0 より $\frac{1}{2}$ 小さい数

$-\frac{1}{2}$

④ 0 より 2.5 小さい数

- 2.5

⑤ 0 より $\frac{3}{4}$ 大きい数

$+\frac{3}{4}$

